令和8年版 環境白書について（概要）

大分市環境白書は、本市の目指す環境像「自然と共生する 持続可能な環境都市 おおいた」の実現に向けた「大分市環境基本計画」の各種施策の進捗状況をまとめたものです。

白書では、自然環境や地球環境など6つの分野の基本目標における施策の取組状況のほか、市民や市民団体、事業者と連携した取組の概要を公表しています。

なお、進捗状況等については、大分市環境審議会へ報告し、いただいた意見や提言をその後の事業等に反映させながら、各種施策を推進しています。

目指す環境像の達成に向けた6つの基本目標

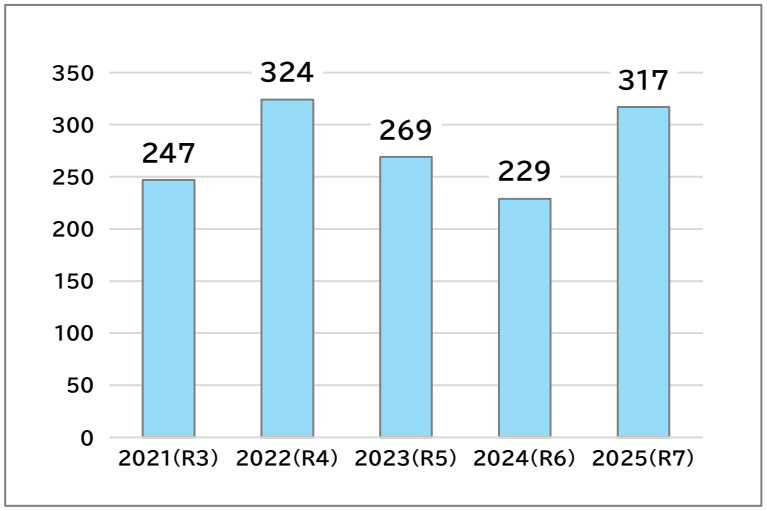
1．豊かな自然 多様な生物と共にいきるまち（自然環境）
2．おおいたらしい風景を守り活かすまち（快適環境）
3．健康な生活を確保し安心して暮らせるまち（生活環境）
4．循環型社会の実現にみんなで取り組むまち（資源循環）
5．ゼロカーボンシティを実現するまち（地球環境）
6．みんなで環境保全に取り組むまち（環境教育・連携）

豊かな自然 多様な生物と共にいきるまち（自然環境）

特定外来生物の防除

「大分市アライグマ防除実施計画」に基づき、地域住民・行政等が協力して、特定外来生物であるアライグマの防除を実施しました。

アライグマ捕獲頭数の推移　（頭）



※環境政策課及び林業水産課における捕獲頭数の合計

身近な自然観察会

身近な自然環境を観察することにより、自然の大切さを認識し、自然を守り育てる意識を高めることを目的に、高尾山自然公園等で観察会を実施しました。（年2回実施、参加者数41名）

おおいたらしい風景を守り活かすまち（快適環境）

地域における環境美化活動の支援

きれいにしょうえおおいた推進事業

自治会や学校、会社など2人以上の団体の申請を受けて、空き缶・たばこの吸殻などの清掃活動やポイ捨てなどのパトロール活動に必要な物品（火バサミ、ごみ袋など）を貸与・支給しています。

活動団体数：259団体、8,538人（R7年度末現在）

ごみ拾いパートナー登録制度

市内の公共の場所において、個人または団体が登録後に、ボランティアとしてごみ拾いに取り組む制度です。

登録者には、ごみステーション等に収集ごみを排出する際に使用できるボランティア専用袋を交付しています。

登録数：1,074団体、21,134人（R7年度末現在）

健康な生活を確保し安心して暮らせるまち（生活環境）

大気汚染防止法に基づき、一般環境大気測定局12局と自動車排出ガス測定局2局で、大気の汚染状況を常時監視しています。

一般環境大気測定局の測定結果

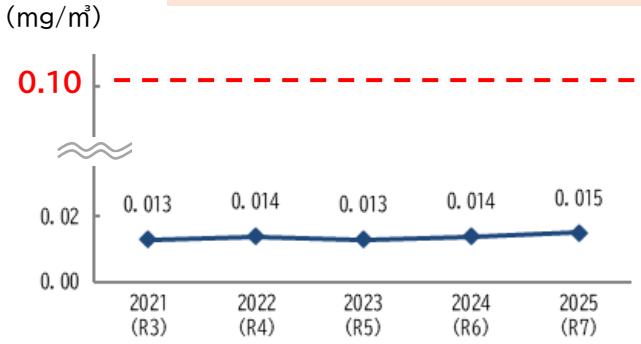
浮遊粒子状物質

測定局数：12（3局で環境基準を非達成）

環境基準：1日平均値の2%除外値が0.1mg/㎥以下

※ただし、1日平均値について環境基準を超える日が2日以上連続した場合は非達成と評価する。

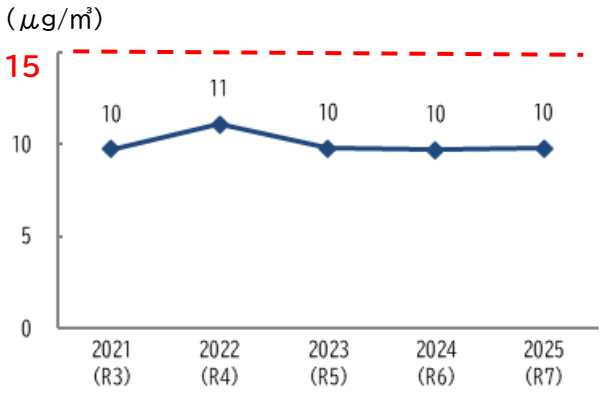
★R7年7月3日・4日の2日連続で基準超過



微小粒子状物質（PM2.5）

測定局数：6（全局で環境基準を達成）

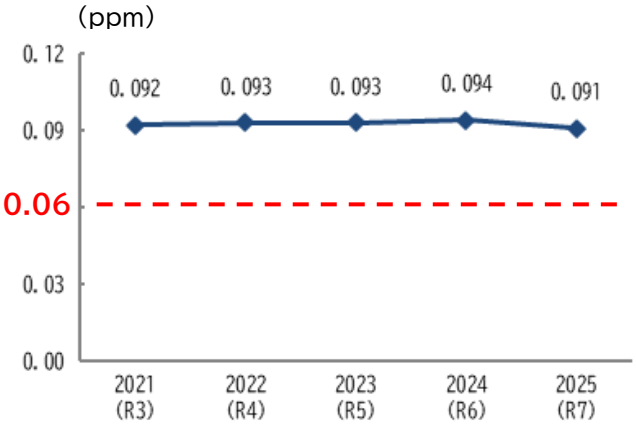
環境基準：1年平均値が15μg/㎥以下



光化学オキシダント

測定局数：12（達成局なし）

環境基準：1時間値が0.06ppm以下



※環境基準 ・・・ 人の健康を保護し、生活環境を保全するうえで維持されることが望ましい基準

有害大気汚染物質モニタリング調査

大気汚染防止法に基づき、有害大気汚染物質による大気の汚染状況について、調査を行ったところ、佐賀関小学校で、ヒ素及びその化合物が指針値を超過しました。

（ng/㎥）

物質	王子中	東大分小	佐賀関小	指針値
ヒ素及びその化合物	1.3	1.6	7.6	6

※指針値 ・・・ 有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための目安となる値

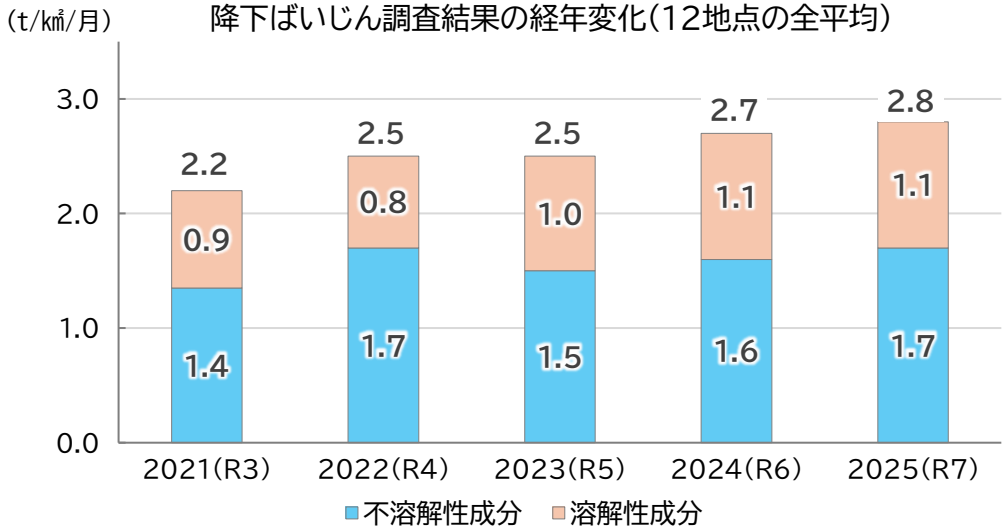
健康な生活を確保し安心して暮らせるまち（生活環境）

降下ばいじん量の経年変化（全地点平均値）

12地点にデポジットゲージを設置して、毎月の降下ばいじん量を調査しています。

本市では、「10t/㎢/月」を環境保全上の目安値としており、2025（令和7）年度は全地点で目安値を下回っていました。

（注）2021（R3）年度の総量については、両成分の端数処理に伴い、両者の和と僅差が生じています。



2023（令和5）年度 環境保健サーベイランス調査の概要

環境省が、全国の3歳児及び6歳児（3歳児 34地域、6歳児 35地域）を対象に実施し、大気汚染物質濃度とぜん息等の呼吸器系症状有症率との関連性について解析・評価を行っています（本市の調査数：3歳児 3,576人、6歳児 3,466人）。

【結果概要】大気汚染物質濃度が高くなるほどぜん息有症率が高くなるような関連性はみられず、ぜん息発症率についても大気汚染物質との有意な関連性を示す結果は得られませんでした。

騒音調査結果（一般地域、道路に面する地域）

一般地域

環境騒音測定を市内6地点で実施。

道路に面する地域

主要幹線道路12地点で実測。面的評価で実施。

【測定結果】

一般地域

全地点で環境基準を達成

道路に面する地域

評価対象住居等の95.9%で環境基準を達成

健康な生活を確保し安心して暮らせるまち（生活環境）

河川・海域に係る調査結果

水質汚濁防止法に基づく水質の調査を、国土交通省や大分県と分担し、河川35地点及び海域14地点で実施しています。

【生活環境項目（河川）】

河川の環境基準の達成状況

（未達成　大野川下流水域、乙津川水域）

水域名		類型	測定地点	BOD75%水質値	達成状況
大分川	上流	A	天神橋	0.7	○
	中流	A	府内大橋	0.9	○
	下流	B	広瀬橋	1.0	○
			弁天大橋	2.0	
大野川	下流	A	白滝橋	0.6	×
			鶴崎橋	3.5	
乙津川		A	海原橋	2.5	×
原 川		C	日岡橋	0.8	○
住吉川		C	新川橋	1.6	○
祓 川		B	御幸橋	1.0	○
丹生川	上流	A	丹生橋	1.7	○
	下流	B	王ノ瀬橋	0.8	○

A類型：2mg/ℓ以下、B類型：3mg/ℓ以下、C類型：5mg/ℓ以下

【生活環境項目（海域）】

海域の環境基準の達成状況（全て達成）

水域名		類型	測定地点	COD75%水質値	達成状況
別府湾	住吉泊地	C	住吉泊地	2.2	○
	乙津泊地	C	乙津泊地	2.1	○
	鶴崎泊地	C	鶴崎泊地	2.0	○
	大 分 港	B	大分港	2.3	○
			大分港沖	2.1	
			日本製鉄地先	1.9	
			クラサス ケミカル地先	1.8	
	別府湾中央	A	高崎山沖	1.4	○
			日本製鉄沖	1.5	
	別府湾東部	A	辛幸沖	1.4	○
	大野川東部	B	大在地先	2.0	○
			坂ノ市地先	2.0	
	佐賀関港	B	佐賀関港	1.6	○
北海部郡東部地先		A	蔦島東	1.1	○

A類型：2mg/ℓ以下、B類型：3mg/ℓ以下、C類型：8mg/ℓ以下

健康な生活を確保し安心して暮らせるまち（生活環境）

地下水に係る調査結果

調査名	調査地点数	超過地点数	超過内容
概況調査	10	1	（環境基準項目）・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素　1地点
継続監視調査	8	4	（環境基準項目）・テトラクロロエチレン　1地点 ・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素　1地点 （要監視項目）・PFOS及びPFOA　2地点

※概況調査 ： 市内を2km×1.5kmの網目状に分割し、市内一円を10年程度で一巡するように実施

※継続監視調査 ： 過去の概況調査で環境基準を超過した井戸について実施（超過地点は今後も調査を継続）

ダイオキシン類調査結果

【河川、地下水、土壌調査】　（pg-TEQ/ℓ）

調査項目	調査地点数	測定結果	環境基準
河　川	5地点	0.038 ～ 0.11	1 以下
河川底質	2地点	0.46 ～ 0.77	150 以下
地下水	7地点	0.026 ～ 0.037	1 以下
土　壌	2地点	0.18 ～ 0.25	1,000 以下

【継続監視調査】　（pg-TEQ/ℓ）

調査項目	調査地点	測定結果	環境基準
地下水	井戸A	5.9	1 以下
地下水	周辺井戸B	0.072	1 以下

過去に基準超過が認められた井戸Aが基準を超過していました。

今後も継続監視調査を実施します。

公害苦情の受理件数

市民や事業者から寄せられる公害苦情については、法律に基づき、苦情者への聞き取りや現地調査、発生源への指導等を通じて、解決に努めています。2025（令和7）年度の受理件数は322件（前年度246件）となっており、種類別では、悪臭に係る苦情が110件で最も多く、次いで騒音、大気汚染となっています。

循環型社会の実現にみんなで取り組むまち（資源循環）

家庭ごみの排出抑制・減量化の推進

家庭ごみ有料化制度

家庭ごみの減量とリサイクルの推進やごみ処理に係る費用負担の公平性の確保を目的として、家庭から出される「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」を対象に指定有料ごみ袋を使用する「家庭ごみ有料化制度」を導入しています。

家庭ごみ排出量の推移　（t）

	2013（H25）［基準年度］	2024（R6）	2025（R7）
燃やせるごみ	90,507	81,411	81,793
燃やせないごみ	5,121	4,653	4,574
合計	95,628	86,064	86,367
削減率（%）（対基準年度）		10.0	9.7

生ごみの減量化

家庭から排出される燃やせるごみの約30%を占める生ごみの減量を推進するため、「3きり運動」の市民への周知・啓発や生ごみ処理容器等の普及に努めました。

・生ごみ処理機器購入補助件数：電動式74件、非電動式1件　・生ごみ処理容器貸与件数：コンポスト345件、ボカシセット67件

産業廃棄物の適正処理・不法投棄の防止

排出事業者等に対する立入検査

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、排出事業者や処理業者に対する立入検査を実施しました。

検査・調査内容	件数
事業所立入検査	750
事業所水質検査	108
焼却施設等ダイオキシン類濃度調査	4

不法投棄パトロール

市内一円のパトロールを行い、不法投棄の発生防止と早期発見・原状回復を図りました。

ゼロカーボンシティを実現するまち（地球環境）

省エネ機器等の導入支援

【再エネ・省エネ（蓄電池・V2H）設備設置費補助事業】

補助額　・・・5万円

補助件数・・・家庭用蓄電池：134件、 V2H：6件



家庭用蓄電池

【家庭用燃料電池（エネファーム）導入推進事業】

補助額　・・・10万円

補助件数・・・12件



エネファーム

【省エネ家電購入促進事業（エアコン、冷蔵庫）】

補助額　・・・購入費3分の1（1世帯あたり上限3万円）

補助件数・・・5，248件（エアコン：1,953件、冷蔵庫：3,295件）

【宅配ボックス設置助成事業】

補助額　・・・購入費の3分の1

（戸建住宅上限3万円、集合住宅上限30万円）

補助件数・・・343件（戸建住宅：277件、集合住宅：66件）

みんなで環境保全に取り組むまち（環境教育・連携）

環境教育・環境学習の取組

大分市環境展

開催日	2025（令和7）年6月7日（土曜日）
場　所	ガレリア竹町ドーム広場
内　容	・エコグッズの展示、作製 ・大分に生息している生物の展示 ・環境科学実験の実演 ・生ごみ処理容器（コンポスト等）の展示 ・汚泥リサイクル肥料の無料配布 ・燃料電池自動車の展示 ・ステージイベント ・緑のカーテンの苗やトイレットペーパー（再生紙）等と交換できるスタンプラリーの実施



会場全景



燃料電池自動車の展示